



～一歩ずつ確実に～

豊橋市立羽田中学校
第2学年
学年通信 No.8
令和4年5月31日発行

出前授業 SDG s がありました

5月27日(金)に豊橋市役所の石川さんをお招きし、SDG sの出前授業を行いました。SDG sが必要になった背景や目的、世界の様々な諸問題(ゴール)について、クイズを交えながら楽しく学ぶことができました。石川さんがかつてロシアを旅行した際には、シャワーの水が茶色だったという話を聞いた時には、驚きの声があがりました。また、日本では1年でプール2万個分の食料が捨てられていることや、服の6割以上が使用されないまま捨てられていることなど、学んだことをしっかりメモしながら学習することができました。のんほいパークの自動販売機で購入した飲み物の代金の一部が寄付に使われることを紹介しつつ、今一人一人が動き出すことが大切だと話をしてくださいました。これからの総合的な学習の中でもSDG sの学習を深めていきます。自分たちにできることを考え、実践していけるとよいですね。



- 今日の出前授業で、豊橋が「SDGs 未来都市」に選ばれていると聞き、自分の住んでいる町が、いろいろな国のための活動をしていると知って、少し誇らしいなと思いました。話を聞いていて、そんなことをするだけで、SDG sに何か関係があるの?と思うこともありましたが、説明を聞くと、どれも自分のことや、将来ずっと先の未来のことにもつながっていくんだなと思いました。いろいろな会社も、いろいろな人に向けたサービス等を行っていて、思いやりのようなことも大切なんだと思いました。
- SDG sは、みんなが困らない未来のための世界共通の目標で、17のゴールと169のターゲットがあり、「だれ一人取り残さない」がキーワードだとわかりました。自分は17のゴールのうち、7、11、12を積極的にやろうと思いました。7では、部屋を出るときに電気を消して節電に取り組みます。11では、挨拶を積極的にして、いざとなったときに助けを呼べる関係を作ります。12では、消しゴムや鉛筆を使えるまで使ったり、賞味期限の早いものから食べようと思いました。小さなことでも一つ一つやって、SDG sに協力しようと思いました。
- SDG sは、私たちが解決できる問題ではないから、あまり意識したことはなかったけど、今日の話聞いて、私たちが少しずつ気をつけていくことで、よくなっていくことがわかりました。これからは、自分には関係ないとは思わず、少しの事でも意識していくことが大切なんだと学びました。私たちが、電気の使い過ぎをなくしたり、食べ残しを減らしたり、物を最後まで使い切ってから新しいものを買ったりするなど、あたりまえのことだけど、そのあたりまえができないと、だんだん積み重なり、大きな問題となってしまうので、あたりまえのことをしていきたいと思いました。
- SDG sは、今が幸せになることを願うのではなく、未来の世界が幸せになるようにするための目標で、10年後、20年後の未来のことも考えていかないといけないと感じました。豊橋市や企業などもSDG sに取り組み、みんなで達成していかなくてはいけない目標だと改めて感じました。自分たちにも取り組めることがあり、最初は難しそうだと思っていましたが、今日の授業で身近なものと感じました。挨拶など、身近なことからSDG sの取り組みを始めようと思いました。